

有縁の皆さんでお読み下さい

またひとつ 歳をたまりみ仏の 法を聞けよの命なりけり

お念仏の 家族に なるう

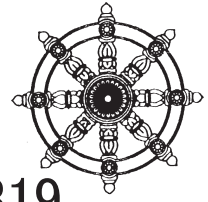
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.319



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

年末年始の純正寺の法要

除夜会

大晦日午後六時より七時まで

『仏説阿弥陀経』のお勤めと

住職の挨拶

かぶら汁のお振る舞い

元旦会

元旦午前十時より十一時まで

『正信念仏偈和讃』のお勤めと

住職の挨拶

祝の餅のお振る舞い

御正忌

十六日（月）午前十時より正午まで

『正信念仏偈作法』のお勤め

住職の法話

「親鸞様のご臨終に学ぶ」

YouTube 純正寺チャンネル



QRコードリーダーで読み込んでください。

LINE 純正寺公式アカウント



1月25日（水）

10:00~12:00 13:30~15:30

こんき常例布施

法話：願通寺 中尾 萌恵 師

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

住職法話我聞如是

われかくのごとくきく

お念仏の中に今年を振り返る

く今年もいろいろありましたね

今年の漢字

年末恒例の日本漢字能力検定協会主催の「今年の漢字」。今年も、十二月十二日に京都清水寺にて発表され、今年を象徴する漢字一文字の最多得票を得たとして「戦」が選ばれました。ただ、得票数第二位とはわずかの差で、第二位は「安」でした。

この二文字を並べると、反対の意味を連想させるかもしれません。しかし、この字に投票された方の選んだ理由を調べると、「戦」はロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮による度重なるミサイル発射実験に挙げ

のです。

兵戈無用

た人が多く、一方「安」は7月に街頭演説中に凶弾に倒れた安倍元首相を理由に挙げた人が多かったようです。ですから、この二文字はいずれも武器により人命が奪われた事を象徴する文字として選ばれたのです。

さて、もう一つ最近年末の恒例行事に挙げられるようになってきたイベントに、仏教伝道協会主催の「輝け！お寺の掲示板大賞」があります。全国にある七万五千にも及ぶ寺院の掲示板に書かれた仏語・法語が、それを書かれた方や読まれた方から投稿されて、その中から様々な賞が決められるも

とありました。

今年の大賞に選ばれた作品は「武器を捨て 数珠を持つとう 絵・文字 長男(二〇)」でした。この作品は、京都市にある浄土宗龍岸寺の掲示板の法語です。講評には「今年の二月に始まったウクライナでの戦争により、今なお多くの人々が苦しんでいます。『仏説無量寿経』の中には「兵戈無用(ひょうがむよう)」とあり、これは「武力も兵力も必要ない」という意味の言葉です。地球の未来を担う子ども達のためにも、武器を捨てて数珠を持ち、拝む心(敬い感謝する心)を大切にしたいということ、大賞に選ばせていただきました」

『仏説阿弥陀経』には、人間の世は「五濁悪世」だと説かれています。「五濁悪世」とは、「劫濁(戦争や天災、飢饉や疫病が流行る)」「見濁(自己中心的なものの見方が一般化する)」「煩惱濁(好きなものを貪欲に追い求め、嫌いなものを徹底的に排除する)」「衆生濁(人間社会全体が劣悪化していく)」「命濁(自他の命の尊厳が軽んじられ、感じられなくなる)」に満ちた世界を意味していて、まさしく現代社会が「五濁悪世」そのままです。

大慈悲心に生きる

しかし、このような世の中だからこそお念仏の教えは説かれたのです。では、この五濁悪世をお念仏の教えに生き

るとはどういうことかというのと、それは「仏の大慈悲に生きる」ということです。阿弥陀仏は、自分を後回しにして常に他者にはたらく仏(為物身)です。そのお心を「大慈悲心」と言います。この大慈悲心を真似ていくことがお念仏に生きるということですので。もちろん、私たちはおさとりを開いた仏ではありませんから、完全に慈悲を實踐できるわけではなく、失敗もたくさんするでしょう。しかし、それでも他者を気にかけてながら生きて行く努力をし続けていくことが、武器など持たずとも互いが敬い信頼し合える社会の実現につながるのです。

門徒推進員

このような社会の実現には、お念仏に生きる人の輪を広げていく必要があります。その手がかりになるのが「門徒推進員」です。この言葉は「真宗門徒(お念仏に自覚的に生きる人)として生きることを積極的に推進する門徒」という意味です。組や寺院で開催される「門徒推進員養成連続研修会(連研)」を二年間(十二回)受講し、本願寺で開催される三泊四日の「門徒推進員中央教修」を受講された方が門徒推進員と呼ばれます。

私は、この四半世紀の間、彦根組の連研と本山での中央教修にスタッフとして関わってきました。この間、純正寺所属のご門徒も相当数組連研を受講されたので

すが、残念ながら中央教習修を受講された方はおられませんでした。しかし、今年の十一月に純正寺所属のご門徒が初めて中央教修を受講されました。純正寺には、中央教修を受講された後に純正寺の所属になられた女性門徒が一人おられますので、これで合わせて門徒推進員さんは二名となりました。

てられんけん

さらに、今年の七月からは彦根組の後援を得て、純正寺「てられんけん(寺連研)」がスタートしました。組ではなく、寺院が主体となつて開催する「てられんけん」は、滋賀教区六百ヶ寺で初めての取り組みとなりました。このてられんけんには、彦根組内外から現在十名のご門徒が受講されており、その中には純正寺所属のご門徒も二名おられます。この十名のご門徒が、皆さんこの研修を修了されて、中央教修を経て門徒推進員の役を担っていただけることに期待しています。

しかし、門徒推進員とは別に特別な門徒になるというだけでもなければ、何かしら特別な活動をしていただくわけでもありません。ただ、お念仏の教えを基盤に日々の暮らしがあることに、歓びが感じられるようになるきっかけのようなものです。

新年が、お念仏に生きる歓びを共感できる仲間が一人でも増える一年になることを願うばかりです。



純正寺 1月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ

一、五三二、二二六個

本格的な冬到来ですが、たくさんの人達から今月も一一六一〇個のエコキャップが集まりました。ありがとうございます。

一年の計は・・・元旦会

1日(日)

10:00~11:00

年齢・性別は問いません

コロナ禍であるからこそ、お念仏の声を聞きながら自分を見失わない一年のための大事な初日です。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

7日(土)・28日(土)

10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しいおやつタイムです。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

10日(火)・24日(火)

10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

みんなの食堂ビハーラ

12日(木)・26日(木)

17:00~19:00

年齢・性別は問いません

コロナ感染症の第8波の中にはありますが、感染対策しながら楽しくみんなで食事しましょう。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

15日(日)・29日(日)

14:00~16:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

15日(日)

18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

宗祖の祥月命日「御正忌法要」

16日(月)

10:00~12:00

年齢・性別は問いません

親鸞様の祥月命日のご縁。『正信念仏偈作法』のお勤めと住職法話「親鸞様のご臨終に学ぶ」です。

「月例法話座談会」

19日(木)

14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

こんき常例布教

25日(水)

10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。ご法話は、近江八幡市願通寺の中尾萌恵師です。

十二月十六日
法名 釋 求真
俗名 北村 禮子さん
行年 七十九歳
謹んでお念仏申し上げます。

ご往生

ホームページ開設!!

今更なのですが、純正寺のホームページを開設しました。毎月更新することに慣れるまで時間がかかるかもしれませんが、どうぞご覧ください。ご覧になる場合は、下記のURLで検索するか、QRコードを読み取ってください。

<https://www.jyunshouji.com/>



清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:45

年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINELIVE で生配信もします。